

# 主日礼拝

2023年07月16日  
午前10時30分

前奏 「主よ、平和をお与えください」による即興

参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「主にのみ、わたしは望みをおいていた。  
主は耳を傾けて、叫びを聞いてくださった。  
滅びの穴、泥沼からわたしを引き上げ  
わたしの足を岩の上に立たせ  
しっかりと歩ませ  
わたしの口に新しい歌を  
わたしたちの神への賛美を授けてくださった。  
人はこそって主を仰ぎ見  
主を畏れ敬い、主に依り頼む。」 (詩編 40:1~4)

## 頌栄 24 「たたえよ 主の民」

たたえよ主のたみ、みつかいととも  
に、  
めぐみにあふれるちち・子・せいれいを。  
アーメン。

## 十戒交読

司式者 わたしはあなたの神、主であって、あなたを  
エジプトの地、奴隷の家から導き出した者である。

会衆 サント サント サント (讚美 85)

司式者 あなたはわたしのほかに、なにものをも  
神としてはならない。

会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。

司式者 あなたは自分のために、刻んだ像を造っては  
ならない。

会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。

司式者 あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに  
唱えてはならない。

会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。

司式者 安息日を覚えて、これを聖とせよ。

会衆 サント サント サント (讚美 85)

司式者 あなたの父と母とを敬え。

会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。

司式者 あなたは殺してはならない。

会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。

司式者 あなたは姦淫してはならない。

会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。

司式者 あなたは盗んではならない。

会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。

司式者 あなたは隣人について、偽証してはならない。

会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。

司式者 あなたは隣人の家を貪ってはならない。

会衆 サント サント サント (讚美 85)

## 85 「サントサントサント」

サント サント サント、こころをこめて、さ  
San - to, San - to, San - to. i Mi cor - a - zón te a - do ra! Mi  
さげよ ういのり、せいなる主に。  
Cor - a - zón te sa - be de - cir: i San - to e - res Señ - or!

## 祈祷

## 献金

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
なればなり。  
アーメン。

## 賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キリエ エレイソン キリエ エレイソン  
しゅよあわれみをしゅよあわれみ  
キリエ エレ - - イソン  
しゅよあわれ - - みを

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン  
しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを

聖書 ガラテヤ信徒への手紙 6：1～10

新約(新共同訳)P350

1 兄弟たち、万一だれかが不注意にも何かの罪に陥ったなら、“霊”に導かれて生きているあなたがたは、そういう人を柔和な心で正しい道に立ち帰らせなさい。あなた自身も誘惑されないように、自分に気をつけなさい。2 互いに重荷を担いなさい。そのようにしてこそ、キリストの律法を全うすることになるのです。3 実際には何者でもないのに、自分をひとかどの者だと思ふ人がいるなら、その人は自分自身を欺いています。4 各自で、自分の行いを吟味してみなさい。そうすれば、自分に対してだけは誇れるとしても、他人に対しては誇ることができないでしょう。5 めいめいが、自分の重荷を担うべきです。6 御言葉を教えてもらう人は、教えてくれる人と持ち物をすべて分かち合いなさい。7 思い違いをしてはいけません。神は、人から侮られることはありません。人は、自分の蒔いたものを、また刈り取ることになるのです。8 自分の肉に蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、霊に蒔く者は、霊から永遠の命を刈り取ります。9 たゆまず善を行いましょ。飽きずに励んでいれば、時が来て、実を刈り取ることになりま。10 ですから、今、時のある間に、すべての人に対して、特に信仰によって家族になった人々に対して、善を行いましょ。

賛美 430 「とびらの外に」

© Jesus, Thou art standing  
 聖: William W. How, 1823—1897  
 ST. HILDA (ST. EDITH)  
 曲: Justin H. Knecht, 1762—1817, Edward Husband, 1843—1908

1 とびら - のそとに たちつづけて  
 2 かたく - とざした戸を たいた  
 3 わたし - のために 死んだイエスの

すくい - のイエスは まって おられる。  
 いまな - おイエスは よびつづける。  
 のあ - われみを なせこぼむか。

ホ イエスの あいの せの たかさよ、  
 イエスの あいの せの ひろかさよ、  
 かたくとざした戸を ひらいて

われら - のつ - みの せの ふかさよ。  
 ひと - のこ - りの せの よかさよ。  
 こころ - のな - かに 主を むかえよう。

- 1 とびらの外に 立ちつづけて  
 数いのイエスは 待っておられる。  
 主イエスの愛の その高さよ、  
 われらの罪の その深さよ。
- 2 かたく閉ざした 戸をたいて  
 今なおイエスは 呼びつづける。  
 主イエスの愛の その広さよ、  
 人の心の その弱さよ。
- 3 私のために 死んだイエスの  
 その憐れみを なげむか。  
 かたく閉ざした 戸を開いて  
 心の中に 主を迎えよう。

説教 「イエス・キリストにおいて一致する」

賛美 520 「真実に清く生きたい」

I would be true  
 詞: Howard A. Walter, 1883—1918  
 曲: Joseph Y. Peek, 1843—1911

1 しんじつに きよく生きたい、せいじつ  
 2 まことのともとなりた、ともな  
 3 けんきよに すすみゆきたい、よわさ

な とも のため に。 おそれず つ  
 き ひ と の と も と、 あたえて む  
 を じ か く し つ つ。 ゆ く 手 は な

よく あり たい、 な す べ き わ ざ の た め  
 く い も と め ん ま こ と の あ い の ひ と  
 お と お く て も こ こ ろ を た か く あ げ

に。 な す べ き わ ざ の た め に。  
 と。 ま い の ひ と と。  
 よう。 こ こ ろ を た か く あ げ よう。

- 1 真実に 清く生きたい、  
 誠実な 友のために。  
 恐れず 強くありたい、  
 なすべきわざのために。  
 なすべきわざのために。
- 2 まことの 友となりたい、  
 友なき 人の友と、  
 与えて 報い求めぬ  
 まことの愛の人と。  
 まことの愛の人と。
- 3 謙虚に 進みゆきたい、  
 弱さを 自覚しつつ。  
 ゆく手は なお遠くても  
 心を高くあげよう。  
 心を高くあげよう。

派遣

司式者 主は言われます。  
 「わたしは誰を遣わすべきか。」  
 会衆 わたしがここにおります。  
 わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメンアーメン

後奏 「みめぐみふかき主に」による即興

司式 山野上 純子  
 説教 向井 希夫牧師  
 奏楽 佐々木 悠

※お立ちになるのが困難な方は、  
 座ったままで礼拝をお守り下さい。  
 ※讃美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。